

Climate

国際交渉から考える日本の課題 ～脱炭素化に向かう世界の中で～

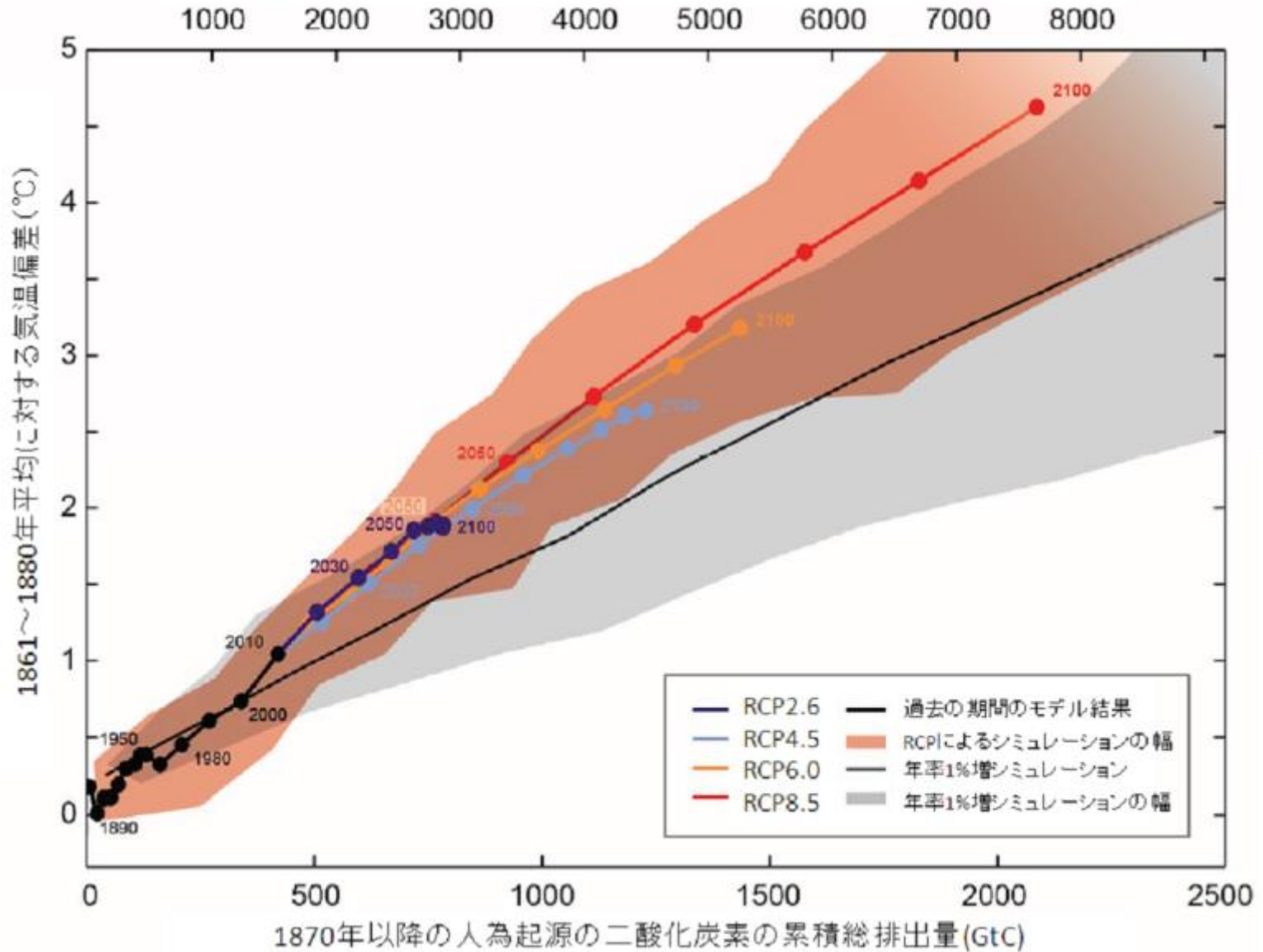
2015年7月2日（木）

伊与田昌慶（気候ネットワーク研究員）



累積総排出量と気温上昇

1870年以降の人為起源の二酸化炭素の累積総排出量(GtCO₂)



累積総排出量と気温上昇

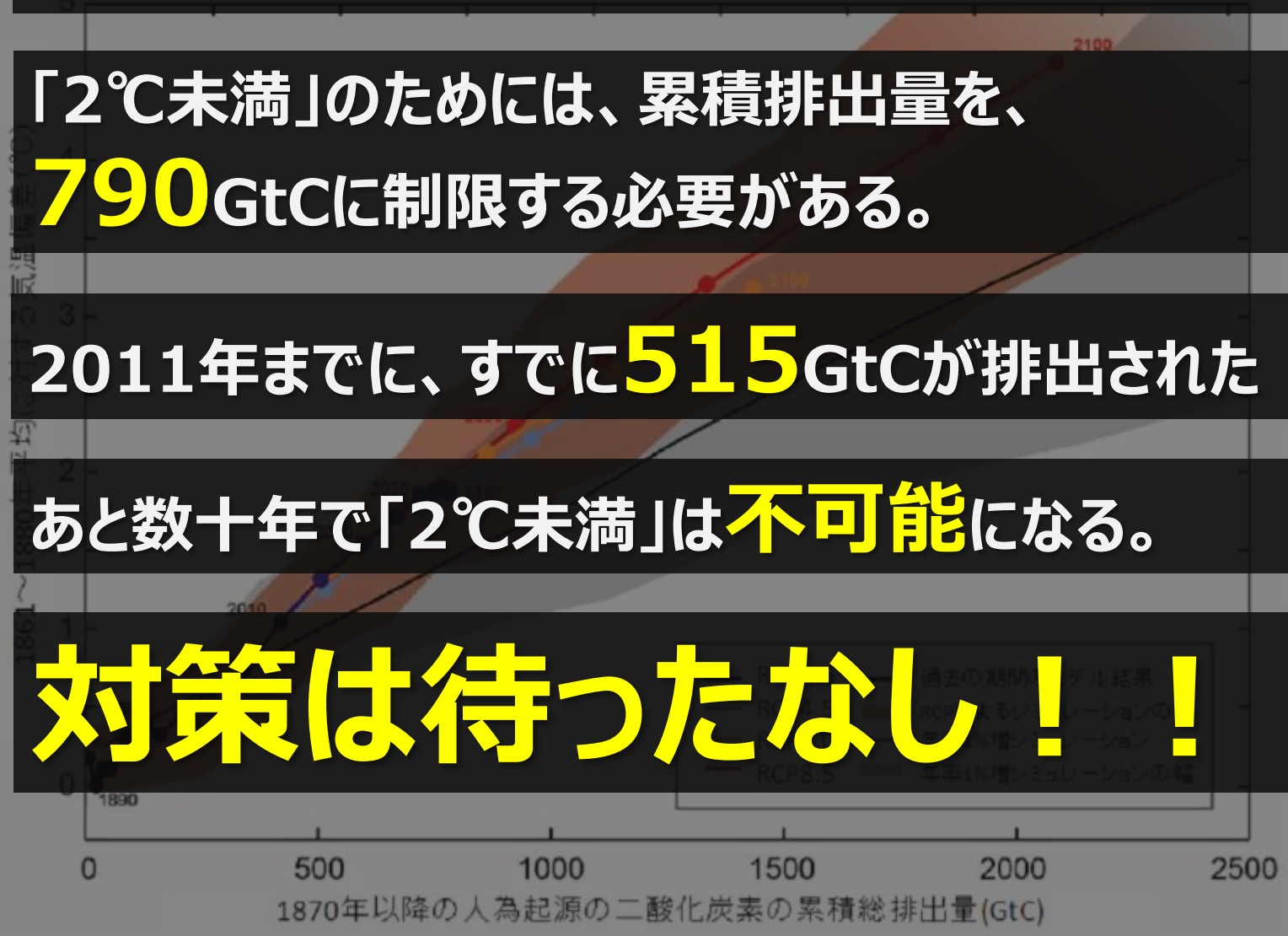
累積CO2排出量が増えると、**気温は上昇する**

「2℃未満」のためには、累積排出量を、**790 GtC**に制限する必要がある。

2011年までに、すでに**515 GtC**が排出された

あと数十年で「2℃未満」は**不可能**になる。

対策は待ったなし！！





2014年9月23日 国連気候サミット
世界**120**国以上の首脳が参加
2015年パリ合意の実現を約束



2014年9月21日
米国・ニューヨークで**40万人**が
温暖化対策の強化を求めてマーチ



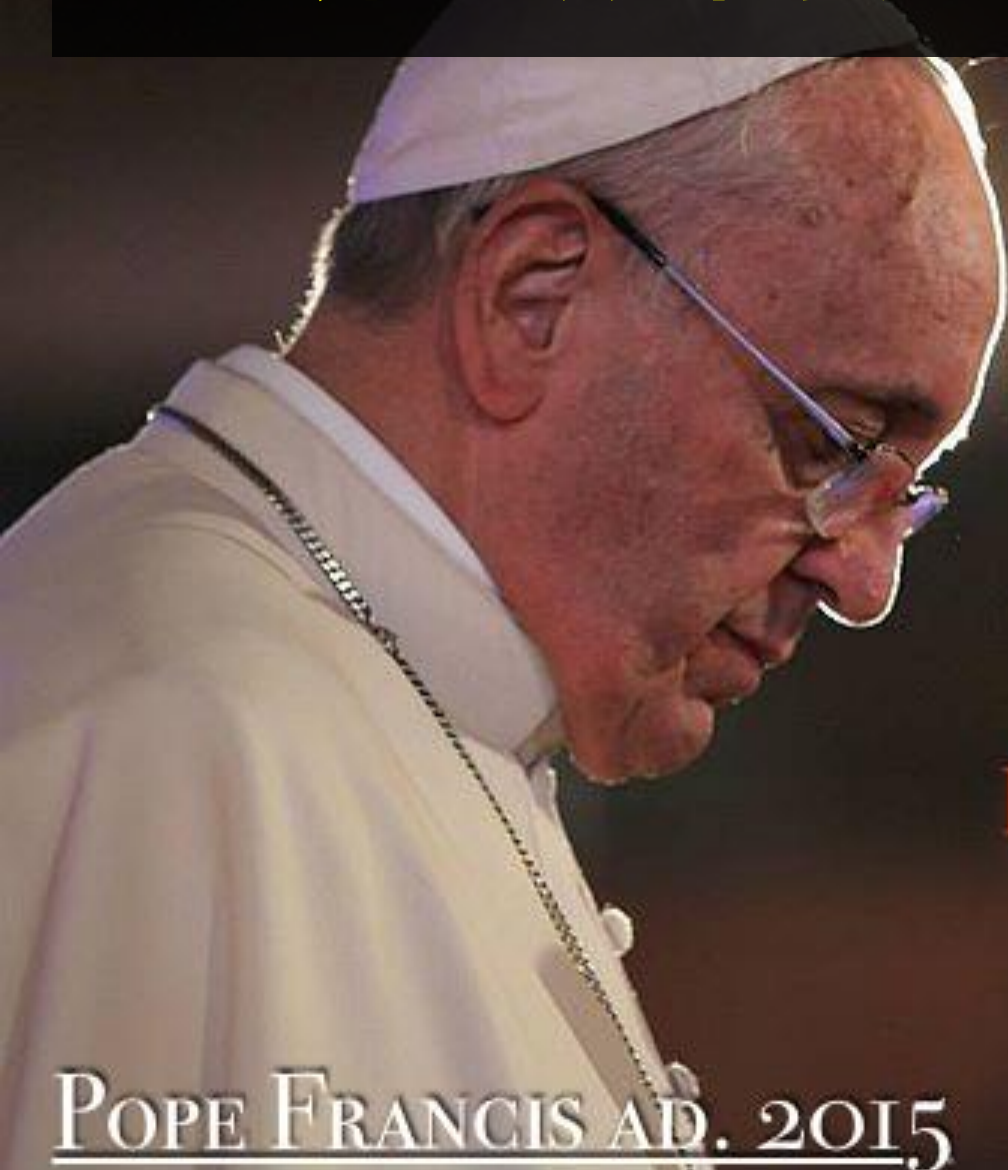
2014年11月。中国・米国首脳が、
温暖化対策の新目標を**共同発表**

2015年6月7~8日
G7エルマウサミット
G7 summit



今世紀中の「**脱炭素化**」に合意

2015年6月18日“回勅”発表
ローマ教皇、気候変動対策の強化を求める



THERE IS AN
URGENT NEED

TO SUBSTITUTE
FOSSIL FUELS FOR
RENEWABLES

POPE FRANCIS AD. 2015



**化石燃料の時代の
終焉は避けられない。**



**再エネ時代の
始まりは止まらない。**

気候をまもる。未来をつくる。

Climate Action Now!

<http://climate-action-now.jp/>

2015年6月1～11日 ドイツ
国連気候変動ボン会議




United Nations
Climate Change Conference
Bonn, Germany



厳しい視線：その1

2020年以降の温暖化対策

～国別目標案（約束草案）をめぐる議論～



2015年6月2日、政府原案発表
2013年比、2030年までに**26%削減**

主要国の約束草案の比較

	1990年比	2005年比	2013年比
日本 (審議会要綱案)	▲18.0% (2030年)	▲25.4% (2030年)	▲26.0% (2030年)
米国	▲14～16% (2025年)	<u>▲26～28%</u> (2025年)	▲18～21% (2025年)
EU	<u>▲40%</u> (2030年)	▲35% (2030年)	▲24% (2030年)

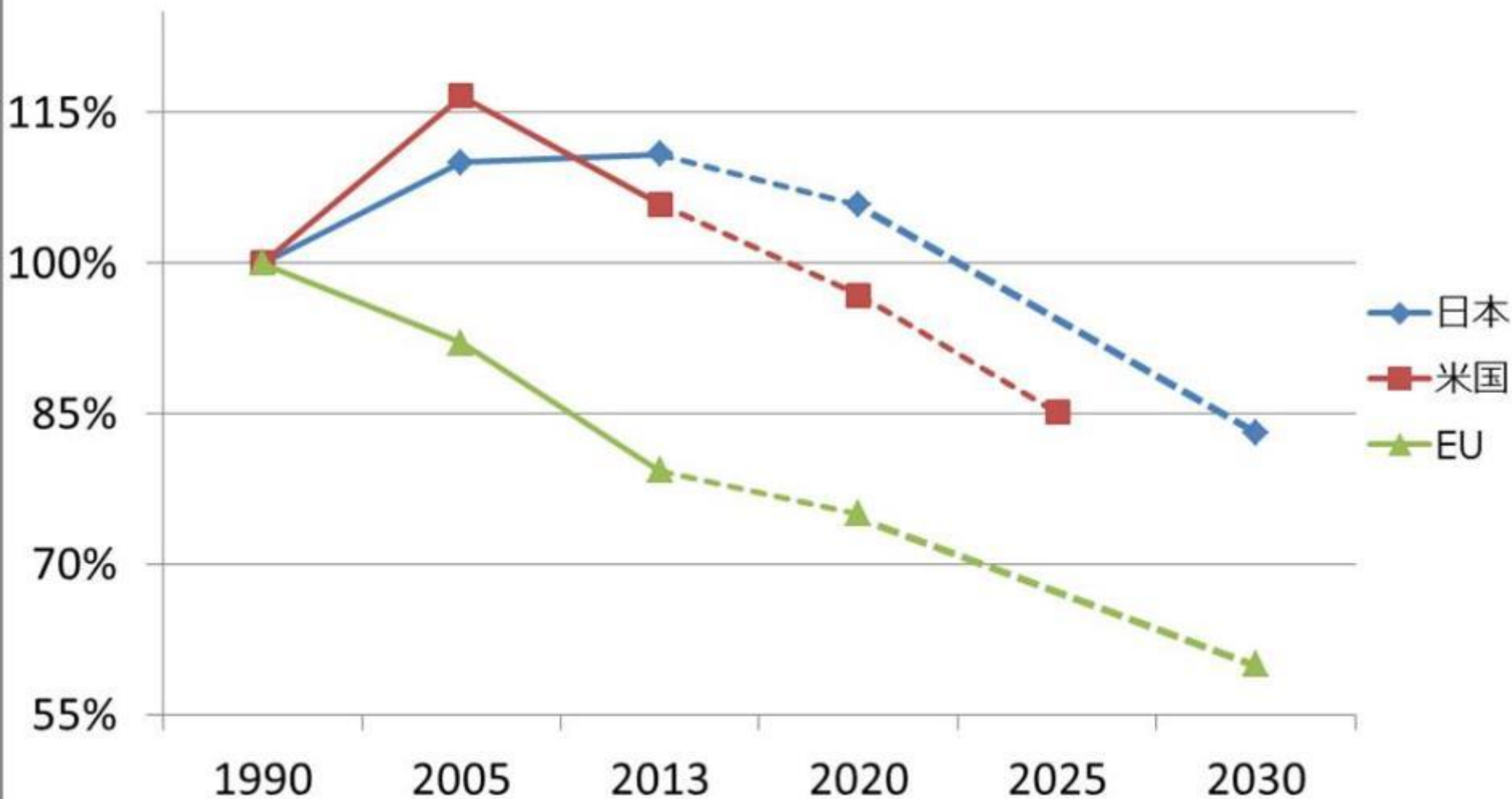
◆ 米国は2005年比の数字を、EUは1990年比の数字を削減目標として提出

出典：政府審議会 約束草案検討ワーキンググループ資料2015年4月30日 資料

http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/sangyougijutsu/chikyu_kankyo/yakusoku_souan_wg/pdf/007_s01_00.pdf

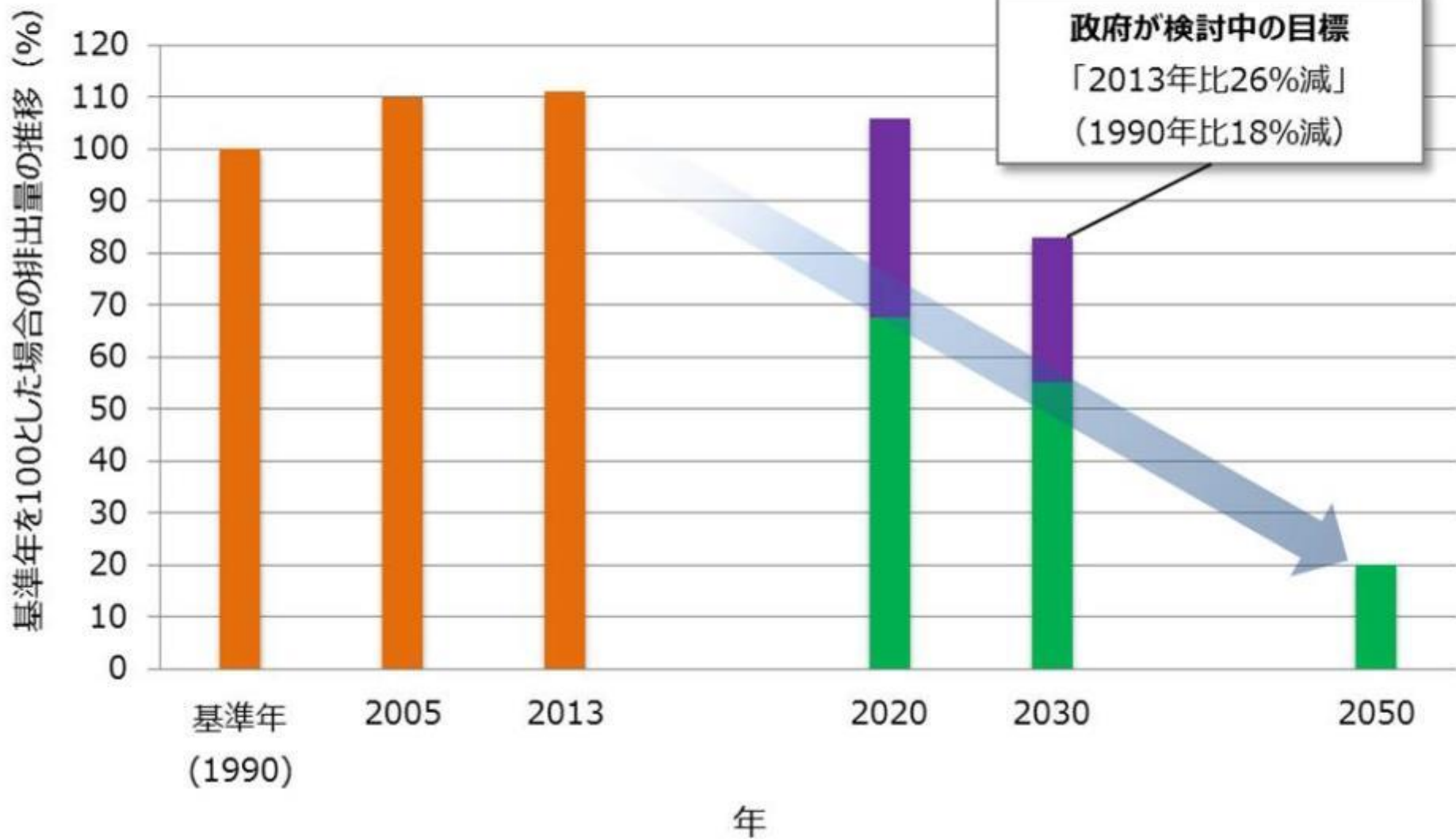
日本・米国・EUの温室効果ガス排出量と削減目標

1990年を100%とした場合の変化 (%)



日本の温室効果ガス排出量と削減目標

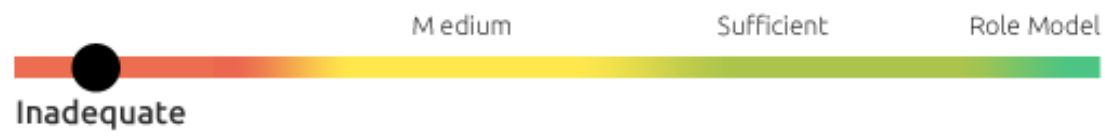
2013年比で2030年26%減 = 1990年比で2030年18%減



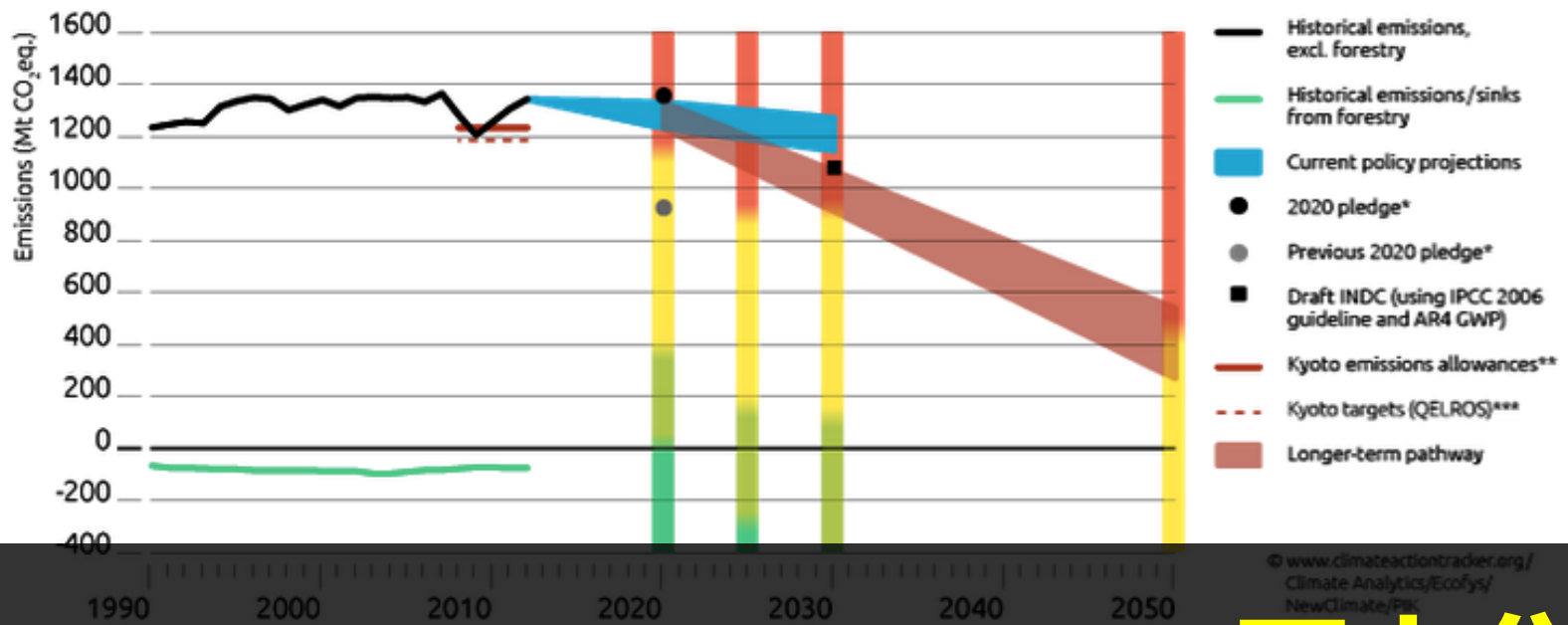
この水準の目標案を提出
すれば、気候変動問題に
おける日本の地位は失墜
してしまうでしょう。

Wael Hmaidan
CAN International

Rating



Basic view + Pledge + More info



© www.climateactiontracker.org/
Climate Analytics/Ecofys/
NewClimate/PIB

科学者グループ、日本の目標原案は「**不十分**」

***Excl. LULUCF credits and debits, excl. LULUCF base year emissions accounting rules and without application of historical threshold on emissions allowances in 2020 under the Doha decision.

フェリペ・カルデロン

経済と気候に関するグローバル委員会委員長、
前メキシコ大統領



日本は、現在の提案よりもさらに高い目標を掲げることができるし、また、そうすべきだ。

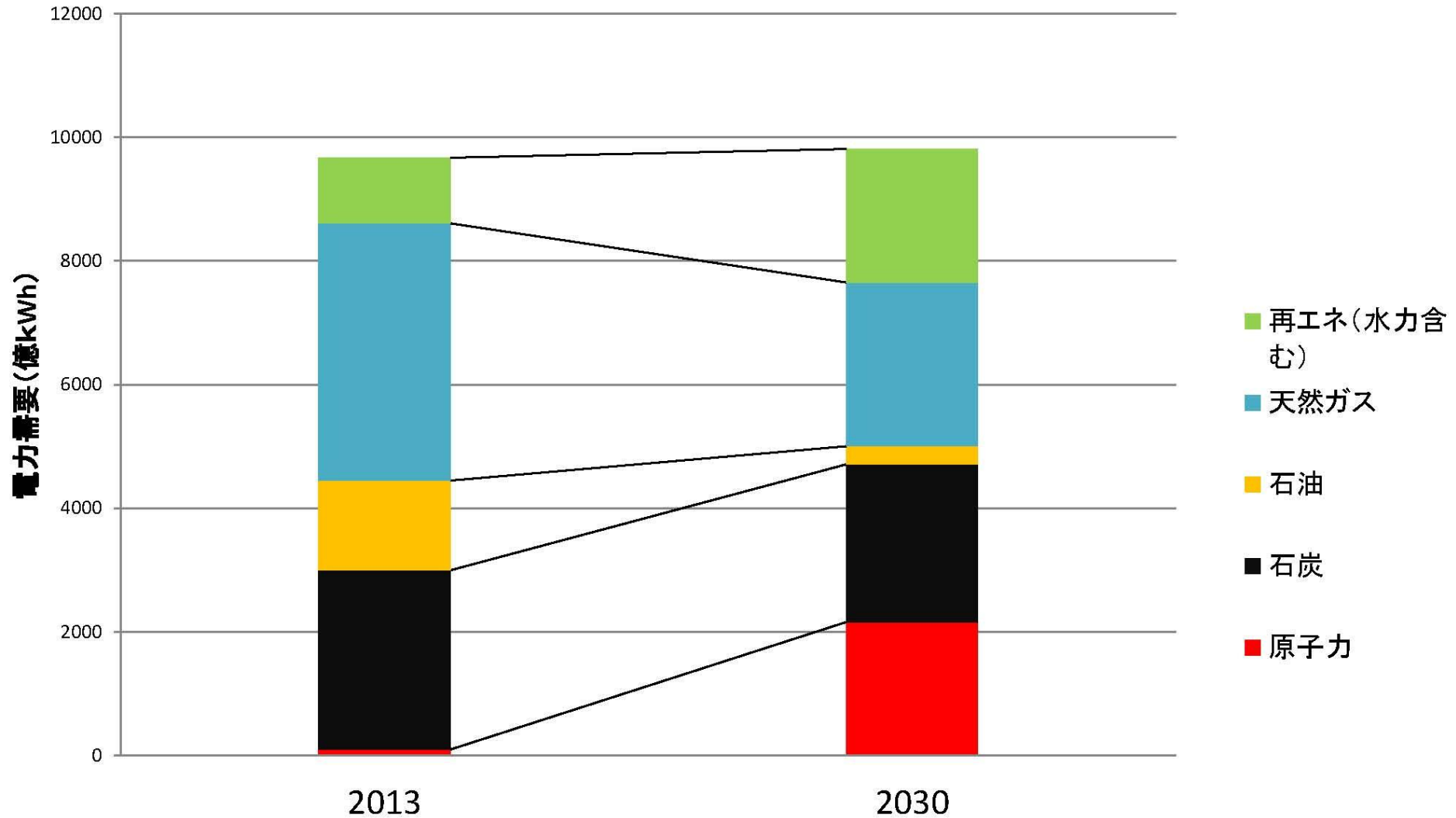
排出量を削減し、低炭素都市とクリーンエネルギーシステムに投資することで、日本は新たなビジネスチャンスを開き、技術のリーダーとしての地位を確保することができる。



エネルギーミックス政府案

原子力…20～22%、再エネ…22～24%、
石炭火力…26%、天然ガス火力…27%、石油火力…3%

エネルギーミックス政府案



2013年実績と2030年の見通し

新しい日本の気候目標への提言

<http://www.can-japan.org/advocacy/1795>

日本の温室効果ガス排出量を、2030年までに
1990年比で**40～50%**削減する。

再生可能エネルギー目標
(電力に占める割合)

45%

再生可能エネルギー目標
(一次エネルギーに占める割合)

30%

省エネルギー目標
(2010年最終エネルギー消費に対する変化率)

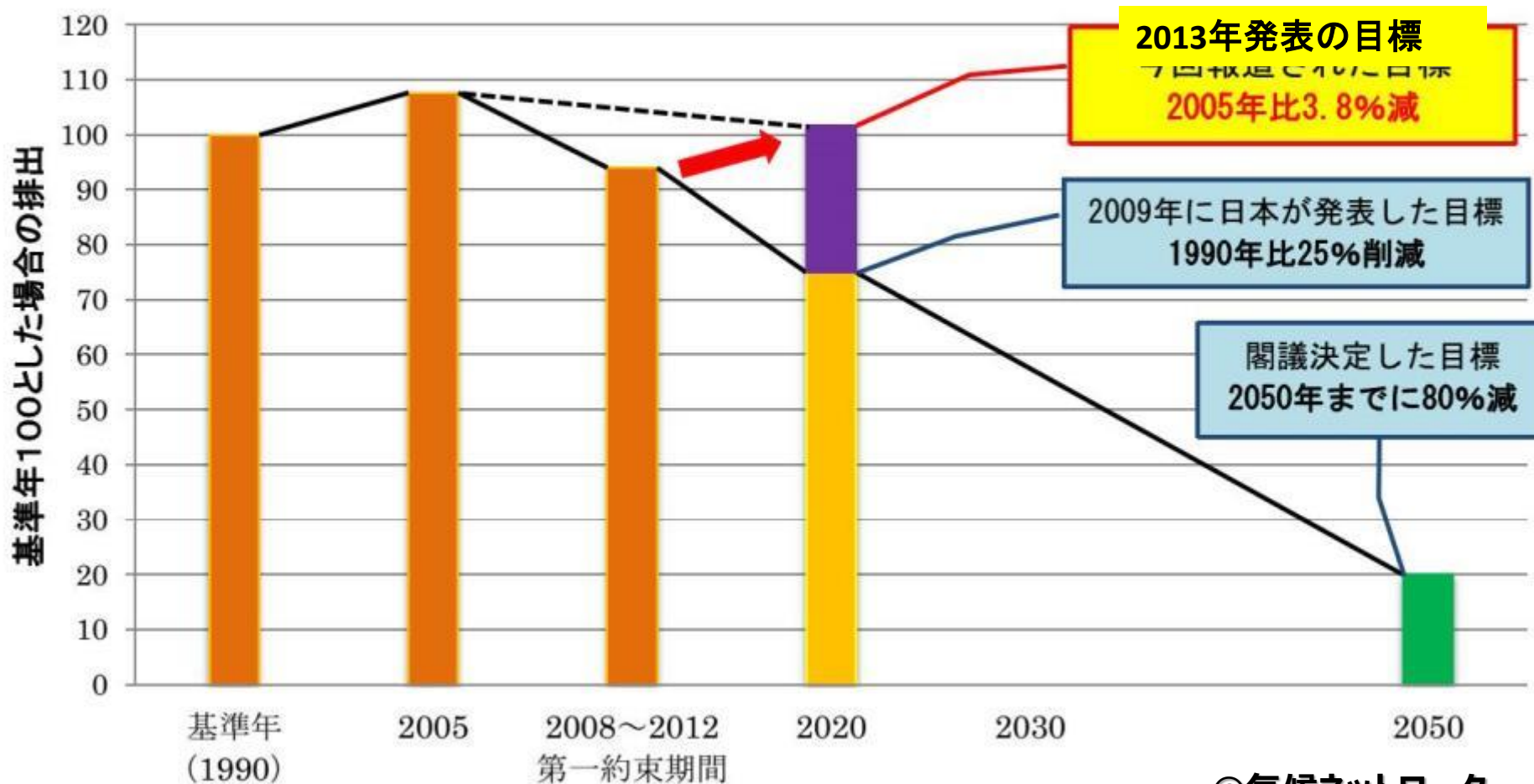
- 35%

厳しい視線：その2

2020年までの温暖化対策

2020年暫定目標 「2005年比3.8%削減」

温室効果ガス排出目標「2005年比3.8%減」の意味





UNFCCC
WEBCAST



MULTILATERAL
ASSESSMENT

日本政府に対し、 各国から厳しい質問が相次ぐ

* 日本の質疑応答の録画映像はどなたでもこちらから視聴可能です:

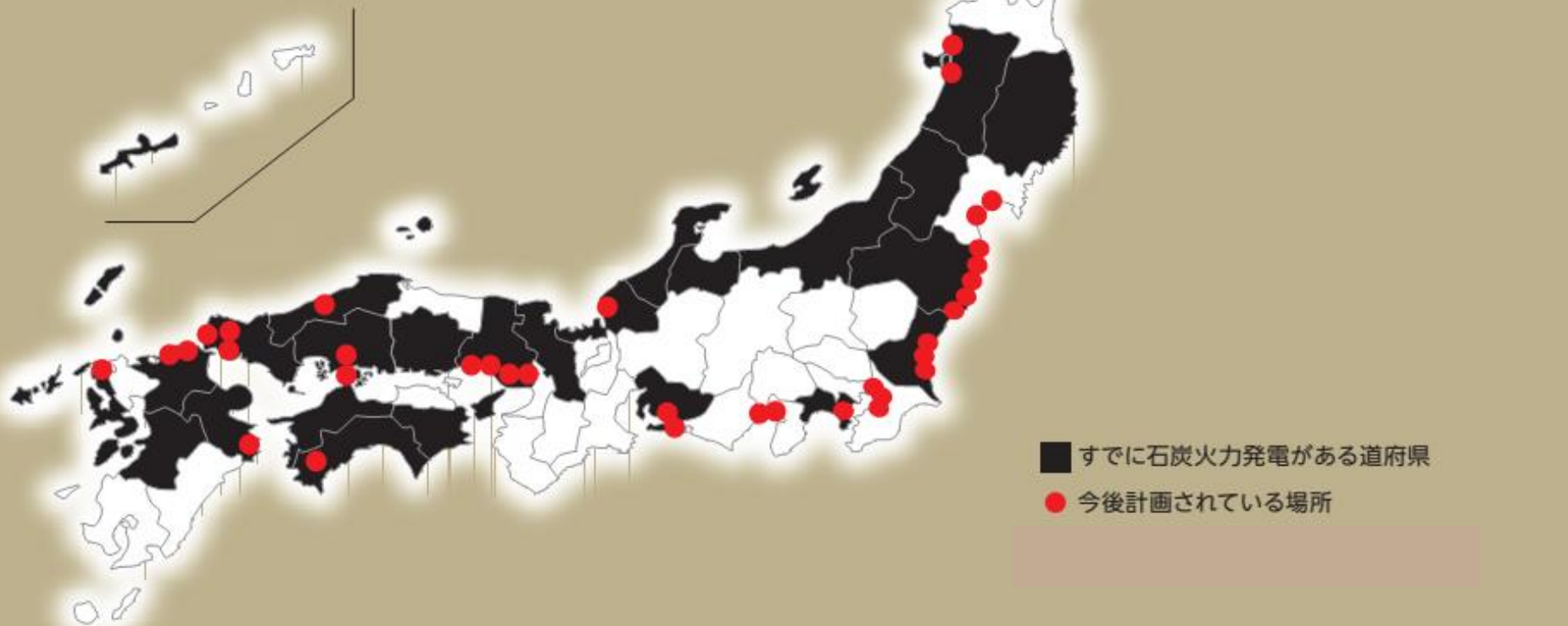
<http://unfccc6.meta-fusion.com/sb42/events/2015-06-03-15-00-sbi-multilateral-assessment-working-group-session/japan-4>

厳しい視線：その3

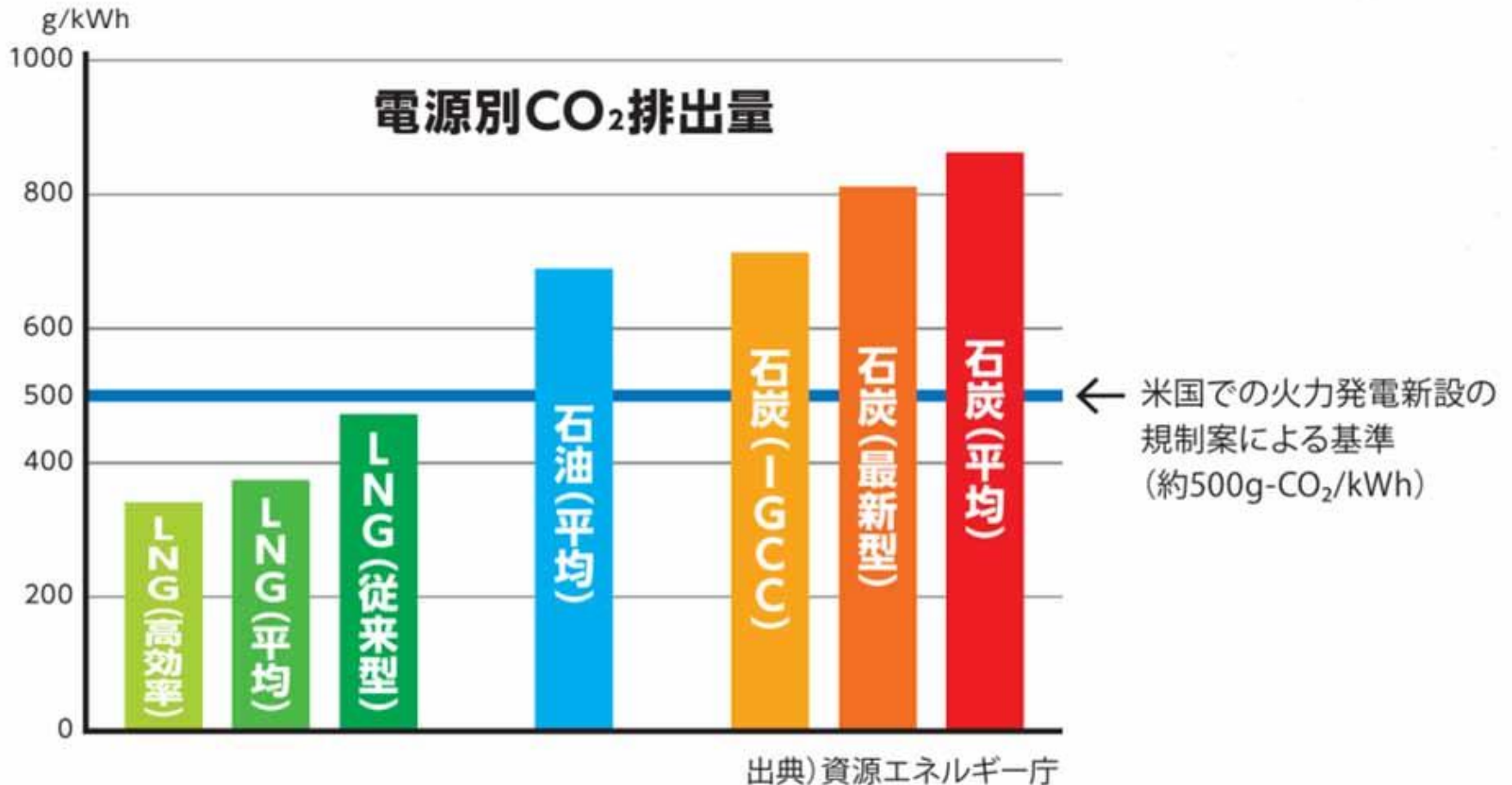
石炭火力発電の推進

石炭火力発電の 建設ラッシュ!?

今、石炭火力発電所の建設計画が次々に発表されています。その数は、公表されているだけでも **47以上**。このままでは2020年前後に新しい石炭火力発電所が一気に稼動することになりかねません。



石炭は“クリーン”か？



- ※1 石炭発電の使用電力量あたりのCO₂排出量は、最新型でも約800g-CO₂/kWh。一方、天然ガス火力発電所は、最新コンバインドサイクルで約350g-CO₂/kWh。
- ※2 石炭ガス化複合発電 (IGCC) の使用電力量あたりのCO₂排出量は、約700g-CO₂/kWh程度。



6月12日、望月環境大臣

山口宇部パワーの
石炭火力発電所新設計画に

「是認しがたい」と

事業の再考を求める意見

国際的な石炭支援に関する最新報告書

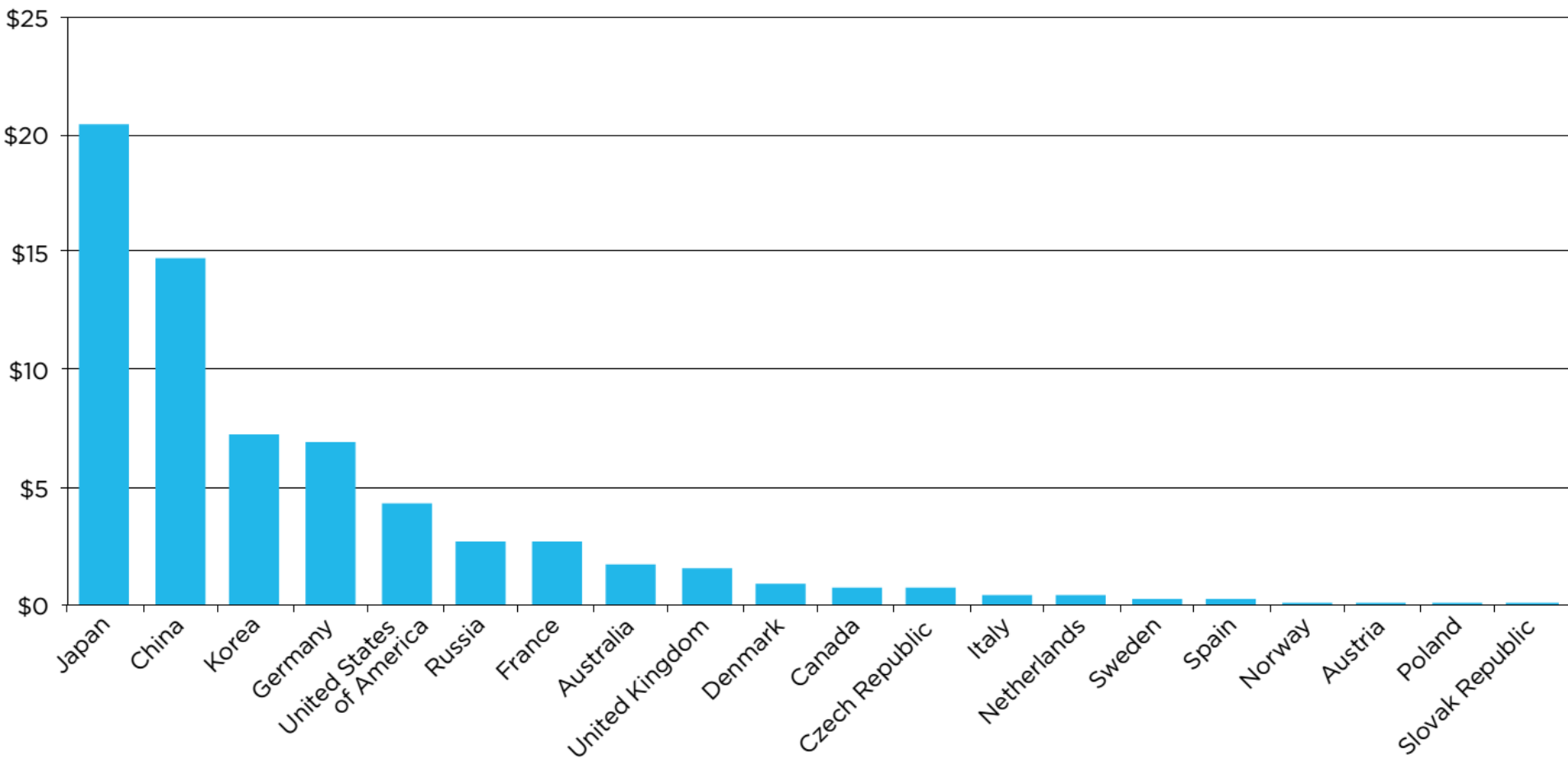
出典：http://priceofoil.org/content/uploads/2015/05/Under_The_Rug_NRDC_OCI_WWF_Jun_2015.pdf



UNDER THE RUG

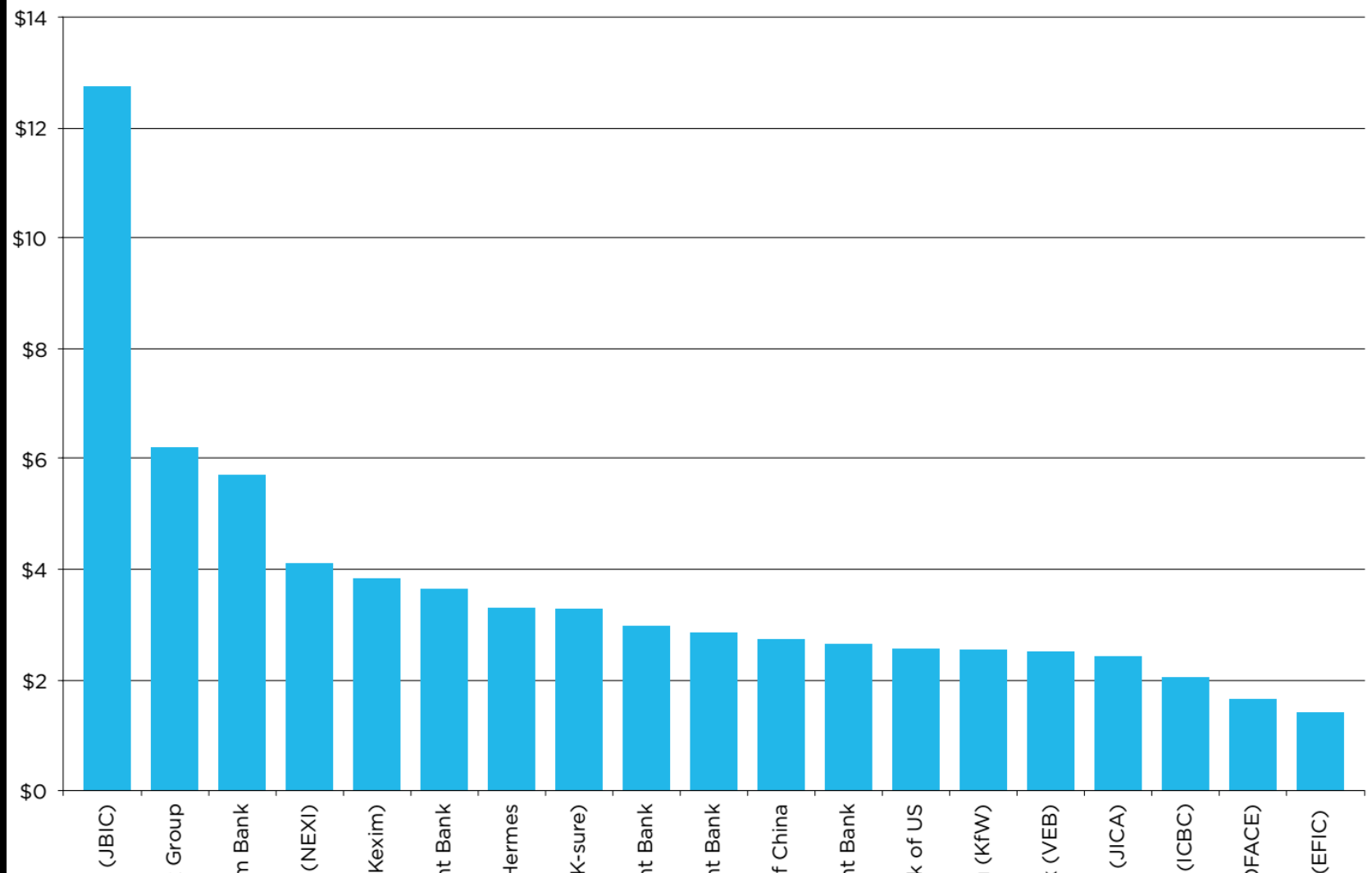
HOW GOVERNMENTS AND INTERNATIONAL INSTITUTIONS
ARE HIDING BILLIONS IN SUPPORT TO THE COAL INDUSTRY

Figure 4. Total International Public Coal Finance 2007-2014 by Country (billion USD)



公的資金による国際的な石炭支援
日本が世界最多の200億ドル

Figure 5. Financial Institutions Above \$1 Billion in Public Finance for Coal, 2007-2014 (billion USD)



日本の国際協力銀行 (JBIC)

国際金融機関における石炭支援額、第1位

厳しい視線：その4

G7サミットの合意プロセス

2015年6月7~8日
G7エルマウサミット
G7 summit



今世紀中の「**脱炭素化**」に合意

THE WORLD NEEDS A CLIMATE HERO



The battle against climate change is a fight for human survival. This weekend's G7 meeting will see an epic struggle to get a commitment to end the age of carbon that threatens everything. One woman in the room can use her power to save us.

Angela Merkel: more than 3.7 million people are calling on you to stand up to climate villains Canada and Japan, quit coal, and sit up for 100% clean energy.

We've got your back.
**Be the hero
the world needs.**

AVAAZ

avaaz.org/climatehero



厳しい視線：その5

昇る太陽、沈む影響力？



E3G

報告書 2015年4月

昇る太陽、沈む影響力？
地球気候政治で自ら孤立を招く日本

テイラー・ディムスデイル、リズ・ガラガー及びカミラ・ポーン

6月ボン会議でも… 「本日の化石賞」三冠



COP21パリ会議に向けて 日本の課題

COP21に向けた日本の課題

- 2020年以降の温暖化対策の方針
 - 温暖化対策の国別目標案（約束草案）の排出削減の水準を大幅に引き上げて国連に正式提出する
 - 原発や石炭に依存するエネルギー政策の方針を取り下げ、原発も温暖化もない社会ビジョンをもつ
- 2020年までの温暖化対策
 - 原発に依存せず、省エネ強化・再エネ強化の方針を持つ
 - 特に、石炭火力発電の新增設計画（47基）は懸念大
- パリ合意において重要な途上国支援
 - 国際社会がめざす長期資金目標（2020年までに年1000億ドル）に貢献できるように、パリに向けて応分の拠出の表明をしていく
 - 途上国における石炭火力発電事業への支援方針を取りやめ、途上国の省エネや再エネ普及の支援へと全面的に舵をきる

Assessing the missed benefits of countries' national contributions

Quantifying potential co-benefits

Authors:

Niklas Höhne, Thomas Day, Hanna Fekete, Sofia Gonzales

日本政府が再エネ100%に沿う高い目標を掲げれば…

- ・化石燃料輸入コスト…年間**330億ドル**節減
- ・大気汚染による死から救える人数…年間**16,500人**
- ・再エネ部門の雇用増…**67,000人**



ご清聴ありがとうございました。

ご質問・ご意見は気候ネットワーク
京都事務所の伊与田までお気軽にお寄せ下さい。

メール：iyoda@kikonet.org

電話：075-254-1011、FAX：075-254-1012

URL：<http://www.kikonet.org>

気候ネットワークは地球温暖化を防ぐために市民の立場から提案×
発信×行動するNGO/NPOです。気候ネットワークは多くの方々のご
参加・ご支援によって支えられています。どうか、ご支援をよろしく願
いいたします。オンライン寄付・入会ページは次よりアクセスできます。

URL：<http://www.kikonet.org/category/support/>

(右のQRコードからもオンライン寄付・入会ページにアクセスできます)

